

意見交換会

平成25年度 国土交通省との意見交換会

(一社)全国土木施工管理技士会連合会(以下「連合会」という。)は、平成25年11月22日(金)東京都内において、国土交通省との意見交換会を開催した。

当日は、足立技監、森官房技術審議官、他多数幹部が出席された。今回の意見交換会は、昨年同様、自由討議に十分な時間を取り、その中で議題に対する意見交換会が行われた。議事は、猪熊専務理事の進行で行われ、冒頭、連合会の小林会長と国土交通省の足立技監のご挨拶があった。

小林会長は、「自然災害への備えや、インフラの維持管理など土木技術者への期待が大きくなっていることから、将来に備えるためにも関係者と一丸となって努力したい」と述べられた。足立技監は、「今年は災害が多く、国交省の※テックフォースの活動が高い評価を得ている。テックフォースは、国交省職員だけでなく、もっと広く考えており、皆さんにもそうした役割を担ってほしい。インフラの維持管理でも皆



小林 会長挨拶



足立 技監挨拶

さんの技術を活用させていただきたい」と語られた。

意見交換会では、連合会から、①現場の技術者を確保するために、技術検定の緩和・受験者向け講習への助成や②都道府県などによる受発注者間の情報共有システムの導入を支援する体制整備などを提案した。また、③速やかな設計変更金額の提示や④提出書類の簡素化なども要望した。

国交省側からは、いろいろな面から幅広く検討し、いろいろなデータを蓄積して状況判断ができるような、データベースの整備や適正な能力のある技術者を評価して「仕事のやりがい」が持てるような環境整備などについて一緒に考えていきたい。また、しっかり議論して、やれることから順次やっていきたいと語っていた。

※テックフォース：国土交通省緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)は、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたもの。